



2022年 9月

第327号

The Service Club of The YMCA

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長 花輪 宗命
副会長 茂木 稔
書記 久保田 貞視
会計 長谷川 あや子
直前会長 山本 英次
担当主事 菅野 牧夫
ブリテン 山本 英次 茂木 稔
大久保 重子

国際会長 Samuel Chacko (india)
主題「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
スローガン「自己を越えて、変化を起こそう」
アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen 主題:「新しい時代とともに エレガントに変化を」 スローガン「今すぐ実行を」
東日本区理事 佐藤 重良 (甲府 21) 主題:「未来へ向けて今すぐ行動しよう」
スローガン「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
あずさ部部長 後藤 明久 (富士五湖) 主題「ワイズへの参加と交流を楽しもう」
八王子ワイズ会長 花輪 宗命 主題「感謝と報恩奉仕」

巻頭言

会長 花輪宗命

今日は直前会長感謝会ですので、山本直前会長に慰労と感謝の言葉を申し述べさせていただきます。

山本直前会長には、昨年の7月から今年の6月まで、八王子クラブにとって、気を引き締めてクラブ運営を図らなければならない極めて重要な期間、会長職の重責を担って頂きました。

言うまでもなく、次々と変異種が生まれたコロナ禍が猖獗を極めた厳しい環境の1年だったのに加え、もう一つ重要な課題として、長谷川あや子さんがあずさ部長として活躍された1年でもありました。そういう重要な1年

9月 例会プログラム

(リアル例会)

日時：9月10日(土曜日) 18:00~20:00

場所：北野事務所2階大会議室

(担当:A班 菅野、小口、佐藤、長谷川)

受付:小口 司会:長谷川

- ・開会点鐘 花輪会長
- ・ワイズソング 一同
- ・ワイズの信条 一同
- ・ゲスト・ビジター紹介 花輪会長
- ・聖句・食前感謝 佐藤

会食

- ・卓話「神田川船の会の展望」

樋口 順英ワイズ(東京グリーンクラブ会長)

- ・東京YMCA 報告 菅野担当主事
- ・報告・連絡事項 会長・各委員
- ・スマイル 菅野
- ・Happy Birthday (大久保重子さん)
- ・閉会点鐘 花輪会長

先月の例会ポイント (8月)

在籍	12名	切手(長谷川・津田)	60.9g
		海外31g	計639.3
メン	10名	現金	0円
メイキャップ	2名	累計	0円
出席率	100%	スマイル	11,600円
メネット	0名	累計	11,600円
ゲスト	0名	オークション	0円
ビジター	0名	累計	0円
ひつじぐも	4名		

今月の聖句(2022年9月)

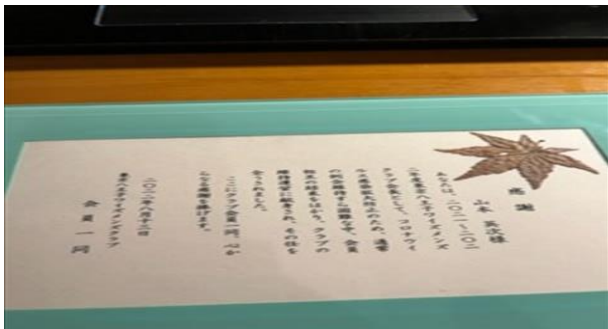
「あなたがたも聞いておおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と言われている。しかし、私は言うておく。敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。天におられるあなたがたの父の子になるためである。父は、悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせて下さるからである。」
(新約聖書/マタイによる福音書 5:43~45)

でしたが、長谷川さんが、あずさ部長として活躍していただけるよう、言わば留守を守るというのも八王子クラブ会長のもう一つ重要な役割だったわけです。山本会長は持ち前の明るさと積極性で、ともすれば我々の気分が重く且つ固くなりそうなところを全力で駆け抜け、率先垂範して会員の皆様を引っ張っていかれました。

ご本人は、それまで、当クラブのブリテン編集長を務めて頂きましたが、会長に就任してからは、あずさ部始め東日本区の様々な会にも殆ど皆勤状態で、積極的に発言・貢献をしていただきました。

ワイズメンズクラブ以外でも、地元の老人会、あるいはプロバスケットボールクラブ等の社会活動にも大いに貢献され大変お忙しい中、私たちの八王子クラブの会長という重責を担っていただいていたわけでございます。ここに改めて山本直前会長のご功績に対して最大級の賛辞を送るとともに、その働きに対して深く感謝申し上げ、1年間お疲れ様でしたと、ご慰労申し上げます。

私の拙い挨拶だと一寸足りませんので、並木信一さんがご用意下さった大変素敵な感謝状を読み上げて、正式のご挨拶とさせて頂きたいと思っております。



感謝状 山本英次様、



居酒屋 安べいにて 久保田貞視

8月13日(土)17:00~19:00、第8号台風の中、

山本直前会長感謝会には中央大学ひつじぐもの学生4人の出席を含め14名が「安兵衛」に集合。まず、花輪会長の口頭での開会点鐘の後、花輪会長より山本直前会長に対して1年間の精力的な会長活動に対して謝辞、更に並木担当班長が用意した感謝状を読み上げ、記念品として純米吟醸「伯楽屋」を進呈した。

続いて山本直前会長より答礼の挨拶があり、その中であずさ部活動での長谷川直前あずさ部長のご苦勞へのねぎらいの言葉をかけられた。続いて、3年ぶりに参加した初対面のひつじぐもの学生よりそれぞれ自己紹介があった。みんな意欲的に学生生活を送っているのが感じられた。

懇親会は長老の茂木ワイズの乾杯で始まった。その間、並木班長のアイデアにより、短歌の5・7・7・5を席順に最後の句だけ見て次の句を作り、順送りし短歌を完成させるゲームを行い、俊作、傑作、珍作が発表され、会場を沸かした。

その後、一人一人、山本直前会長への感謝、自分の体調、趣味、八王子ワイズとひつじぐもの関係の経緯、身近な話題、9月、10月の卓話者紹介等を報告。花輪会長の閉会の挨拶となった。今回は並木C班班長の企画で居酒屋での美味しい、割安な料理をいただきながらの頭も使った楽しいひと時を過ごすことができた。

出席者:長谷川あや子、小口多津子、花輪宗命、
並木真、望月隆珉、久保田貞視、山本英次、
大久保重子、並木信一、茂木稔

(ひつじぐも)関口遼(3年)、立花岳大(3年)、
森脇啓心(2年)、折原美結(1年)

傑作短歌集 (順位不明)

- *高尾山 青空高く 雲なびく 学びやの丘
春の日の夢
- *感謝会 いつもにここにこ さくらみち 亡き人お
もい なみだする
- *ひつじぐも 若人のパワー いつも元気 子供は
走り 急いでかえる
- *おもいでは セピア色した 写真あり 愛する乙
女 涙ぐみつつ

- *台風の日 雨風しのいで よかったな ワイズメンズの 花開く夢
- *台風の こわさをして 月明り 密かに照らす 乙女の姿
- *さつまいも 秋のおとずれ くないの 豚がどこかで あわむかな
- *わこうどの 集うワイズの 顔楽し はやくこいこい 来たらおそれて
- *雨の日や かさなしで行く かなしいな 桜舞い散る めでたいうたげ
- *台風だ 雨に降られて 昔のひと 思い出しては 涙する

ひつじぐも 一言挨拶

中央大学の文学部人文社会学科の関口遼と申します。

去年の11月ぐらいから委員長として活動しています



が、僕の委員長になってからの目標は、「全部の活動を対面にする」ことでした。

ひつじぐもの活動としては、ワイズメンズの皆さんとの活動と実習所、児童館、あとはゴミ拾いとか、他にも学生YMCAの活動で、大きく五つぐらいの

活動があり、他の4つは対面で活動が再開できて、今日やっとワイズメンズの皆さんと対面で会えたので、晴れてやっと僕の目標は達成したと言っても過言ではありません。ほんとに今日は僕としてもすごく嬉しい日であります。ひつじぐもの近況としては、1年生も入部してくれて2年生もそれなりに数が増えて、夏休みはそれなりに活動をたくさんしようと計画を立てており、実行中です。8月も3分の1が終わりましたが、これからも活動をどんどん続けていく予定です。いずれは代替わりとかも後々考えていかなきゃいけないということで、11月ぐらいには僕から新しい委員長へのバトンタッチや、法学部が茗荷谷キャンパスに移転することもあります。ひつじぐものは法学部生が3分の1ぐらいを占めているので、彼らがいなくてひつじぐもの活動が回らなくなってしまうので、その移転とかも色々考えていかなきゃなっていうのが最近のひつじぐもの近況でございます。

ゴミ拾いもそうですね、ユースの支援金をちよつといただいて活動するっていうので、今やっているのは

普通にゴミ拾いの活動をして、その重を量ったり、どんなゴミがあったかなっていうのを、みんなで話し合ったりとか、あと最近は新しいことを始めようってことで、学校のキャンパス内のゴミ箱を調べてマッピングして、それをSNSで共有しようっていうのをやっていて、今日もちよつとだけ、僕と向こうに座っている森脇くんとちよつとだけやってきました、夏休みにかけてやろうと思っています。

9月4日にYouth Action2022報告があるのでその時にも色々報告できたらなと思っています。

8月の末には、江ノ島の海でゴミ拾いする予定なので、それもすごい楽しみです。

以上です。ありがとうございました。

総合政策学部政策科学科1年の折原美結です。

総合政策学部で経営学を中心に、経済や法律などを学んでいます。高校では人形劇のクラブに所属して、幼稚園や保育園、障害者施設などに



行き、人形劇を通して交流をしていました。夏休みにはさだまささんが主催している高校生ボランティアアワードに参加しました。様々な高校のボランティア団体が集まって交流し、多くの話を聞くことができ、印象に残っています。ひつ

じぐもでも様々な年代の方と関わりながら、ボランティア活動をしていけたらいいなと思っています。よろしくお願いします。

経済学部経済学科3年生の立花

岳大と言います。

よろしくお願いします。

僕は中学、高校は剣道部に所属して6年間やってきました。今大学はもう、剣道はちよつと嫌になっちゃって距離を置かせてもら



ってます。ボランティアサークルひつじぐもに関しては、僕はたまにしか活動に参加できてないんですけど、関口君におんぶに抱っこでやらせていただいているので、これからも良くしていただければいいなと思ってます。よろしくお願いします。

経済学部経済学科2年の森脇啓心です。自分は2年といっても浪人をしてるんで、一応21歳ですね。高校の頃は山岳部やっています、今もそんな感じのサークルに入ったり、たまに友達と行ったりしています。他にもプロレス観戦だったり、野球観戦だったり、最近では自分がサークルとかで忙しくしているのですが、変わったことといえば、妹が夏休みの間、海外留学して



て、自分も海外行きたいなんて思っていたところを、妹に先を越

されてしまったということがあったので、やっぱり夏休みに英語なり、なんなりを頑張ろうかななんて思ったりして次第でございます。

ひつじぐもでの活動は特に係についているわけではないのですが、今回のように興味のある活動だったり、ゴミ拾いなんかも積極的に参加させてもらってるのもしかしたらこれからもお世話になることがあるかもしれない、またよろしくお願ひします。すいません。こんな感じで終わらせていただきます。

IYC2022へ

ひつじぐも 峯尾心さん、伊藤瑠南さんを推薦

小口多津子 (ユース事業主査)

3年ぶりに開催される、インターナショナル・ユースコンボケーションが9月にタイ、チェンマイYMCAで開かれることになり、早速、クラブで検討し中央大学学Yひつじぐもへ呼びかけました。すぐにお二人が応えて下さいました。花輪会長はお二人に、今回の動機をインタビューして推薦書を書き上げ、コロナワクチン接種証明の確認、また渡航費用が思いのほか高騰していてその了解などあわただしい準備でした。先日23日、30日に、ユース事業主任による事前説明会がZOOMでありました。推薦された東日本区からの5名は、東京八王子クラブから峯尾さん、伊藤さん。甲府21クラブ(山梨Y)からの下田さん、川越クラブ(埼玉Y)からの木下さん、宇都宮クラブ(とちぎY)から川口さん、川口さんは東日本区ユース代表(RYR)、今回のチームリーダー。西日本区代表は1名で、京都ウエストクラブ推薦、市橋さん。この6人が日本の代表です。アジアから4か国、日本、ネパール、フィリピン、タイの24名(台湾は国の事情で不参加)、全体で78名の参加になり9月3日~9日まで、タイにて世界の若者と共に過ごし、語り合い、また日本文化を紹介して過ごします。ところが説明会で分かったことは、タイの出国の際に

その72時間以内にPCR検査を受けて、陰性証明書がないと帰国できないということでした。とにかく、無事にスムーズに帰ってこられることを祈るしかありません。

嬉しいことに、ワイズ国際議員の利根川恵子さんが、現地で合流して下さることです。事前説明会において利根川さんは参加の心構えを次のようにおっしゃいました。「英語は話せなくても、とにかく堂々と喋ること、話せない、ではなく、意見を言うことが大切である。IYCに参加することによって、これからの自分の生き方を考えるということが一番の課題です。これから自分をどう生かすかです」。

八王子クラブの11月12日の例会日には、お二人の報告会がもたれます、とても楽しみです。

東京八王子ワイズメンズクラブ会長・花輪宗命からの推薦状の一部転記

伊藤 瑠南さんは、中央大学総合政治学科国際政策文化学科1年生ですが、幼少のころから異文化や国際交流に興味があるため、国際政策文化学科入学しました。入学してから真っ先にひつじぐもに入部しましたが、それは、国際ボランティア活動に携わりたいからでした。人身売買について学びにタイに行っているひつじぐもの活動が大変魅力的だと思っていましたので、今回の国際ユースコンボケーションに参加して、異文化をもつ世界の人々と交流し、新しい発見や学びを得て、異文化への理解を深めたいと希望しています。

今回のプログラムに参加するのに必要な英語力についても、伊藤さんは、レベルに応じて14にクラス分けされている学部でトップクラスに属しておられるので、伊藤さんの語学力は、YMCAにとっても、本人にとっても、ひつじぐもにとっても、今回の国際コンボケーションで、最高の成果をあげるのに貢献するとは間違いないと信じます。

峯尾 心さんは、中央大学総合政策学部2年生で、ひつじぐもの皆さんをリードする有力且つ頼りがいのある学生で、既にタイのパヤオセンターの方々とオンラインで交流した実績があります。

峯尾さんは、元々チェンマイに住んでいて、タイが大好きなので、ひつじぐもの活動としてタイへの研修があるということに惹かれて入部したくらいの学生です。

国際ユースコンボケーションでは、他の国の方々と交流し、他国の文化に触れるとともに、日本の文化も紹介したいと熱望しています。中学時代は、インターナショナルスクールで勉強したので、タイ語のほか英語でも他の国の代表の方々と十分コミュニケーションがとれ、実のある交流ができるのは間違いありません。ユースコンボケーションで最高の貢献をすること確実です。

YMCA 便り

高尾わくわくヴィレッジ館長 菅野 牧夫

- ◆ 水上安全教育として長年全国のYMCAで取り組んでいる「ウォーターセーフティーキャンペーン」が実施され、ウエルネス東陽町と山手センターでは6月19日に親子を対象に着衣泳の体験会を開催した。水上安全の基本が学べる動画をHP上に掲載したり、子どもたちにハンドブックを配布する取り組みも行っている。
- ◆ バングラデシュYMCA同盟からの要請を受け、6月21日にバングラデシュのビリシリを襲った豪雨による洪水被災者緊急支援として、7月末に国際協力募金から約7,000ドルを送金した。現地スタッフを通して、500人の被災者に米、豆、オイル、じゃがいも、経口補水液等の食料が届けられた。
- ◆ 「第25回会員芸術祭」はHP上に作品の画像を掲載するオンライン方式で開催し、会員、職員、児童館や保育園の子どもたち、高等学院の生徒等から作品が寄せられた。9月末まで東京YMCAのHP上に公開されている。
- ◆ 夏季プログラムは、6つの宿泊キャンプの他、デイキャンプ、水泳、語学スクールなど、入念な感染対策の上実施した。フレンドシップファンドによる参加費補助により、経済的に困難なご家庭の子ども9人がプログラムに参加した。
- ◆ 今後の主な行事日程
 - ・「災害スタディ」(ワークショップ) 9月3日
会場：東陽町センター
進行：福田信章氏(東京災害ボランティアネットワーク事務局長)
 - ・「第31回インターナショナル・チャリティーラン」(アプリを使ったオンライン開催)
 - ・「第31回インターナショナル・チャリティーラン」(アプリを使ったオンライン開催)個人参加：10月15日～22日 チーム参加：10月22日～30日
 - ・「ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート」
10月28日会場：日本基督教団霊南坂教会
参加費：無料(会場で募金依頼)
出演：飯靖子氏(オルガン)・飯頭氏(ヴィオラ)・方波見愛氏(ピアノ)

ひつじぐも便

ワイズ担当 色川芽生さんの推薦者：伊藤瑠南

こんにちは、初めまして。この度、IYC2022に参加させていただくことになりました総合政策学部国際文化学科1年の伊藤瑠南です。出身は千葉県で現在、大学まで2時間かけて通っております。特技は弓道と水泳で、コミュニケーションを取ることや人を笑顔にすることが好きです。幼少の頃から世界の様々な国を訪れ、世界のいろいろな文化について学ぶことに興味があります。大学では比較文化研究、地域研究、国際交流論、宗教学など様々な国の文化的背景を理解し、最適な政策について考える学部にも所属しています。また、神社で巫女として奉仕しており、弓道部に所属していたため日本文化にも興味があり、異なる文化を持った世界の人々と交流をして日本の文化について紹介、広めていき、それと同時に日本にだけでは気づくことのできない新しい発見や学びを得て異文化への理解を深めて参りたいと思っております。私が中央大学のひつじぐもに入部した理由もひつじぐもが国際ボランティアサークルで、活動の紹介の中でタイへのスタディーツアーが紹介されていたため、是非とも私もそのようなイベントに参加をして、世界の文化や課題について学んだり、国際交流をしたいと思ったからです。私は世界の中でも母が東南アジアに住んでいた関係で特に東南アジアについて興味があり、第二外国語はインドネシア語、基礎演習は東南アジアについて学んでいます。そのため、将来は東南アジア諸国と日本のより良い関係がますます構築されるように東南アジアと日本をつなぐことができる架け橋のような存在になりたいと思っております。最後にはなりましたが、今回IYC2022に推薦、その後も支えてくださった東京八王子ワイズメンズクラブの方々、誠にありがとうございました。チェンマイでの国際ユースコンボケーションという貴重な体験に参加し、将来の目標に一步でも近づけるように何事にも積極的に取り組んでいきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。



3日午後12時のタイ航空で、IYCの東日本区代表

今月の聖句に寄せて (2022年9月)

マーティン・ルーサー・キング牧師は、その説教「汝の敵を愛せよ」の中で述べています。「おそらくイエスの訓戒のなかで「汝の敵を愛せよ」という命令に従うこと以上に難しいことはないだろう」と。

そして、どのようにして、我々は自分の敵を愛するのか、について述べます。

「まず、我々は許す能力を育て養わなければならない。許す力に欠けている者は、愛する力にも欠けている。我々に危害を加える人々を何度も許すことの必要性を前もって受け入れていなければ敵を愛するという行為は、始めることすら不可能である。

次に、我々は敵なる隣人の悪事や、我々に損害を与える事柄が決してその人のすべてを完全にあらわしているのではない、ということ認めなければならない。善性の要素はどんなに悪い敵の中にも見出すことができよう。

第三に、我々はその敵を打ち負かさずとしたり、屈辱を与えようとしたりしないで、彼の友情や理解を勝ち取るよう努めねばならない。時には、我々は自分の最も悪い敵に屈辱を与えることができる。敵の力が弱まるときは必ずくるし、その時、我々は彼のわき腹に敗北の槍を突き刺すこともできる。しかし、こんなことをしてはならない。

では、何故我々は自分の敵を愛すべきなのか、キング牧師はいくつかの理由を述べています。その理由のひとつに次のことをあげています。

「愛は敵を友にかえることのできる唯一の力である。我々は、憎しみをもって憎しみに立ち向かうことによっては絶対に敵を除くことはできない。我々は敵意を取り除くことによるのみ敵を取り除くことができる。憎しみは、そもそもの本質からして、破壊し、分裂をもたらす。また、愛はそもそもの本質からして、創造し、建設する。愛は贖罪の力をもって造り変えることができるのだ」。

そして、キング牧師は、最後に祈ります。「願わくは、我々が自分の敵を愛し、我々を迫害する者らのために祈るまでは、我々が決して天の父のまことの子とはなり得ないことを、おごそかに自覚せんことを」。

並木信一

8月第二例会議事報告

日時:8月27日(土)18:00~20:00

会場:北野事務所小会議室

1. 直前会長感謝会の報告(並木ワイス)
2. プリテン印刷について(山本ワイス)

現在の印刷機は故障が多く、印刷機を買い替えるか、外注に出すか検討したい。印刷機の償却期間を5年として算定すると印刷機購入の方が半額で済む。協議の結果、印刷機 44,550 円を備品で購入することにした。

3. チャリティコンサートの会場確保の進め方
久保田ワイスよりは来年3月の開催もコロナ禍で難しいと伝えたが、コロナが収まれば開催可能なのでとりあえず会場を予約することにした。8月30日に北野市民センターに行き、花輪会長と久保田ワイスが予約交渉する。
4. インターナショナル・ユースコンボケーション
小口ワイスより報告。当クラブからは中大ひつじぐもの峯尾心さんと伊藤瑠南さんを推薦した。旅費について、大会費用のうち、登録費は国際及びアジア太平洋地域が負担するが航空券。チェンマイ前泊、その他で 152,290 円発生。うち、24,000 千円は東日本区が負担する。他にあずさ部として 10,000 円、当クラブでいくら負担するか協議、結果、この2年間、IYC・AYC は中止の為資金あり二人に 30,000 円ずつ支払うことに決定。クラブでの報告は11月の例会で行う。

現在、東京西センターは休眠状態で東京武蔵野多摩クラブは不参加。当クラブとしては協議の結果、高尾わくわくビレッジとの合同チームとして参加することにして 30,000 円負担することに決定。

6. あずさ部及び他クラブ行事への参加

・甲府やまなみクラブのチャーターナイト

9月3日に甲府談露館で開催。長谷川ワイス、小口ワイス、花輪ワイス、久保田ワイスが出席。

・部会及び富士五湖クラブ20周年記念例会

10月15日(土)忍野村「いちい亭」

まだ正式な案内は未着にて別途参加依申し込あり。

・第18回富士山例会 9月24日~25日

BBQ での交流が主の為、コロナ禍もあり、ホストクラブは現在、検討中の模様。

・東京多摩みなみクラブのプランター講座

Zoom での講座に花輪会長小口、山本、久保田メネットが参加。

・国際会長投票権の特別申請(花輪会長)

投票権があるのは15名以上のクラブであるが

設立25年以上のクラブは申請して投票権を得る。

(出席者) 花輪会長、長谷川、佐藤、菅野、小口、

久保田、望月、並木真、並木信、茂木、山本 11名



9月例会卓話者紹介

樋口 順英 (のぶひで) 氏

1950年 大阪府出身

1973年 慶応義塾大学法学部卒業

1973~2021年 大企業および関連会社勤務

2017年 東京グリーンワイズメンズクラブ入会

2021-22-23年度 東京グリーンクラブ会長

(卓話) 「神田川船の会の展望」

甲府やまなみワイズメンズクラブ

チャーターナイト

ワイズメンズクラブ国際協会が100歳の年に
あずさ部で12年ぶりの新クラブが産声を上げます。

日時：2022年9月3日(土)

伝達式 14:30~15:45 祝会 16:00~17:30

会場：ホテル談露館 甲府市丸の内 1-19-16

今月のお誕生

おめでとうございます！

大久保重子さん 9月12日



ブリテン編集委員
大久保重子・茂木稔
山本英次

わくわくヴィレッジ便り

高尾わくわくヴィレッジ 館長 菅野

牧夫

夏休みに入り、世の中の人々の動きの増加に合わせて東京都ではコロナ感染者も急増してきました。わくわくヴィレッジでもとうとうスタッフのコロナ感染が発生してしまいました。時間差をもって次々に感染が発覚しました。救いだったのは施設内での感染ではなく、それぞれの生活圏での感染だったので施設を閉めなくて済みましたが、スタッフの出勤停止に伴うシフト調整が大変でした。直前会長感謝会もシフトの都合によりお休みになまいましたが、このまま続けてくれれば良いのですが・・・

先日わくわくヴィレッジ近隣の家から電話をいただきました。「わくわくヴィレッジの檜の木が枯れて、家に倒れてきたら危ないので処理してほしい」というものでした。現場を確認しに行くと20メートルはあるかという大木が枯れているのを確認しました。ついでに敷地をぐるっと回って見たところ、パッと見た感じ7~8本の木が枯れていることが確認できました。



今西東京地域では檜枯れが深刻化しています。市内を車で走っているといろいろなところで木々が紅葉しているように見えます。皆様のお家の周りはいかがですか？わくわくヴィレッジでは、処理業者を呼んで見積もりをお願いしました。その際に一緒に森に入って木々を確認してまわりましたが100本以上の木が檜枯れの菌に侵されていることが発覚しました。1本の木を処理するのに何十万という金額がかかります。すべての木を処理するためには数千万円というお金がかかってしまいます。すべての感染している木を駆逐することは不可能なので、危険度や緊急度を踏まえて今年度に進めていく事が決まりました。取り急ぎ近くの家を危険を加えそうな1本を処理することが決定したのでほっとしています。危険度の高い木々を今年度伐採してまいります、はげ山にならないか心配です。

写真：檜枯れ (高尾わくわくヴィレッジ広場)

